

私たちの町の遺跡

二本木発掘物語

■第7話「寺と神社」

二本木遺跡があるJR熊本駅周辺には、たくさんの寺・神社があります。そのなかでも古くからあるものを挙げてみましょう。

清水寺・長谷寺・春日寺・春日神社・加茂神社・北岡神社（元の名前は祇園社）…。気が付かれましたか？。そうです。これらは、いずれも京都・奈良にある寺・神社と同じ名前です。いったい、いつ、誰が、何のために造ったのでしょうか。

平安時代のことです。この地に肥後国府（肥後国を治める役所）があった時代です。京都から赴任してきた国司などの上級役人や、京都に帰らずに肥後の地に定住して勢力を持つようになった人達が、これらの寺・神社を造りました。遠い故郷である京の都を懐かしみ、また、肥後の都であるこの地を京の都と同じような聖地・霊地とするために、自分達が信仰する寺・神社の末寺・末社（現代風に言えば支店）を造ったのです。

平安時代、この地が繁栄していたことは、地下に眠る遺跡の発掘調査の成果が物語ってくれます。同じように、今も残る寺・神社も、このことを物語る歴史遺産なのです。熊本市文化振興課 美濃口雅朗氏「昨年秋に解体された春日寺の本堂」

清水・長谷・春日・・・なるほど
近くには、清少納言のお父さん、
清原元輔を祀る清原神社もある
モン！

